

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

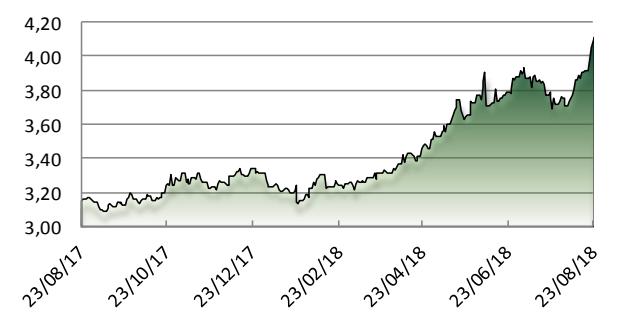
昨日のドルレアルスポット相場は、早くも4.10台を突破し、一時4.12台後半までレアルが下落。次のターゲットとしては2015年と2016年に終値として記録した4.15-4.17台が想定されるが、元々4レアル以上の水準では目立ったテクニカルポイントもないことから、仮に史上最安値の4.24台を抜けた場合、その後は真空地帯での取引となる。匿名で報じられたところによると、ブラジル政府も中銀同様、実際の為替水準よりもボラティリティにより重きを置いており、見通しが変われば必要に応じて介入に踏み切る用意はあるが、6月に行つた大規模介入が奏功し、「現状のボラティリティはまだ抑制的な水準である」との見方にある模様。また、①足許のレアル安は以前と異なり、グローバル経済の影響ではなく、国内の不確実性に起因している、②大手投資家がレアル高にベットするポジションを手仕舞った可能性がある、との見解を示したとも報じられている。投資家は足許の為替水準がインフレ率に与える影響についても注視しているが、昨日公表された8月IPCA-15は前年比4.30%と、幸いにも市場予想(4.28%)対比微増に留まった(前月は4.53%)。現在の相場ドライバーは明らかに左派政権復活への懸念であるが、ここにファンダメンタルズの悪化が加わった場合、特に、通貨安がインフレ上昇を招き、中銀のインフレ期待抑制の手腕に疑義が高まれば、レアル売りに一層の拍車が掛かる可能性がある。レアル相場が新たなステージに突入する時間が迫っている。

## マーケットデータ

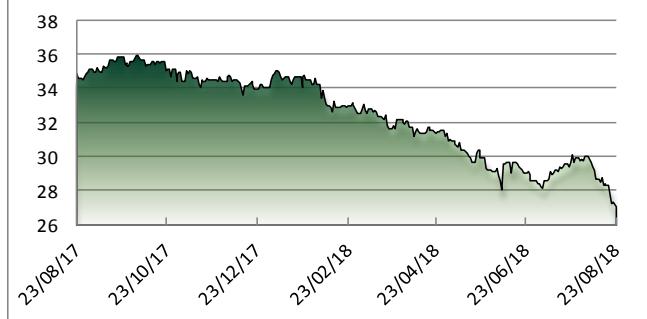
Indicator	Unit	8月22日	8月23日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値	
レアル	対ドル	BRL	4,0433	4,1135	1,74%	8,74%	3,1210	4,1270
	対円	JPY	27,34	27,04	-1,10%	-8,11%	35,13	26,97
	対ユーロ	BRL	4,6873	4,7488	1,31%	7,34%	3,8531	4,7611
円	対ドル	JPY	110,56	111,29	0,66%	-0,05%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	128,20	128,44	0,19%	-1,34%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	76,902	75,634	-1,65%	-3,03%	88,318	69,069	
CDS Brazil 5yrs	bps	264,30	279,11	5,60%	24,02%	285,83	142,50	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,11	12,26	1,24%	10,87%	12,40	9,43	
DI Future Jan19 (金利先物)	%	6,75	6,83	1,19%	1,64%	7,88	6,21	
3 Months US Dollar Libor	%	2,3118	2,3118	0,00%	-1,01%	2,3691	1,6959	
CRB Index (国際商品指数)	Index	191,12	190,50	-0,32%	-1,03%	206,95	186,74	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。